

製品名: DcR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09846**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFRSF10C TNFRSF10C; DCR1; LIT; TRAILR3; TRID; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 10C; Antagonist decoy receptor for TRAIL/Apo-2L; Decoy TRAIL receptor without death domain
別名	Decoy receptor 1; DcR1; Lymphocyte inhibitor of TRAIL; TNF-related apoptosis-inducing ligand receptor 3; TRAIL receptor 3; TRAIL-R3; TRAIL receptor without an intracellular domain; CD263
遺伝子 ID	8794.0
SwissProt ID	O14798
免疫原	抗血清は、ヒト TNFRSF10C の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範

図: 11-60

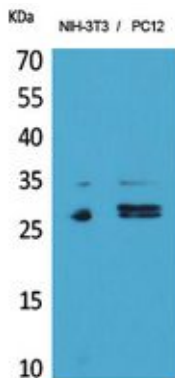
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体は、細胞外 TRAIL 結合ドメインと膜貫通ドメインを有しますが、細胞質デスドメインは有しません。この受容体はアポトーシスを誘導する能力はなく、TRAIL 誘導性アポトーシスから細胞を保護する拮抗受容体として機能すると考えられています。この遺伝子は、p53 制御性 DNA 損傷誘導遺伝子であることが判明しました。この遺伝子の発現は多くの正常組織で検出されましたが、ほとんどの癌細胞株では検出されませんでした。これは、癌細胞が TRAIL のアポトーシス誘導活性に対して特異的に感受性を示すことを説明できる可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 細胞傷害性リガンド TRAIL の受容体。細胞質デスドメインを欠いているため、アポトーシスを誘導できません。TRAIL-R1 および R2 とリガンドへの結合を競合することにより、TRAIL を介したアポトーシスから細胞を保護する可能性がある。、PTM: N-グリコシル化および O-グリコシル化。、類似性: TNFR-Cys リピートを 3 つ含む。、組織特異性: 腫瘍細胞株よりも正常組織で高い発現を示す。末梢血リンパ球、脾臓、骨格筋、胎盤、肺、心臓で高い発現を示す。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;

画像データ



DcR1 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3、PC12 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。